

〈AD-6/A-1H スカイレーダー〉

アメリカ海軍最後のレップロ艦攻撃機であるAD/A1 スカイレーダーは、原型機の初飛行以来12年にも渡り生産され、その数は7シリーズ28タイプ、合計3,180機にもおよび。最初本機に与えられたニックネームがドントレスIIであり、第二次大戦で活躍したドントレス艦上攻撃機につづく機体としてダグラス社が開発したものである。

1944年から始まった開発は順調に進み、プロトタイプ第1号機は予定より2週間早い1945年3月18日に初飛行している。

1個にまとめられた大型燃料タンクや胴体下と側面の大型ダイブブレーキの装備、爆弾倉の撤去などそれまでの艦攻にはなかった新しいアイデアが大胆に取り入れられ、なまかつ軽量化された機体に大馬力のエンジンが装備された。それによって大量の兵器搭載能力と良好な飛行性能がえられ、当時大きな注目を集めることとなった。

そしてアメリカ海軍はもとより、ベトナム、イギリス、フランスなどでも使用されており、本機の優秀さがわか

らうというものだ。多くの戦闘にも参加し、朝鮮戦争、ベトナム戦争ではその能力を十分に発揮したといえる。各種爆撃はもとより、魚雷によるダム爆破、ナバーム弾による夜間攻撃など多くの特殊戦術にも活躍。そして本機の飛行性能のよさは、ベトナム戦におけるMiG-17との空中戦に多くの勝利を納めたという事実が物語っているだろう。

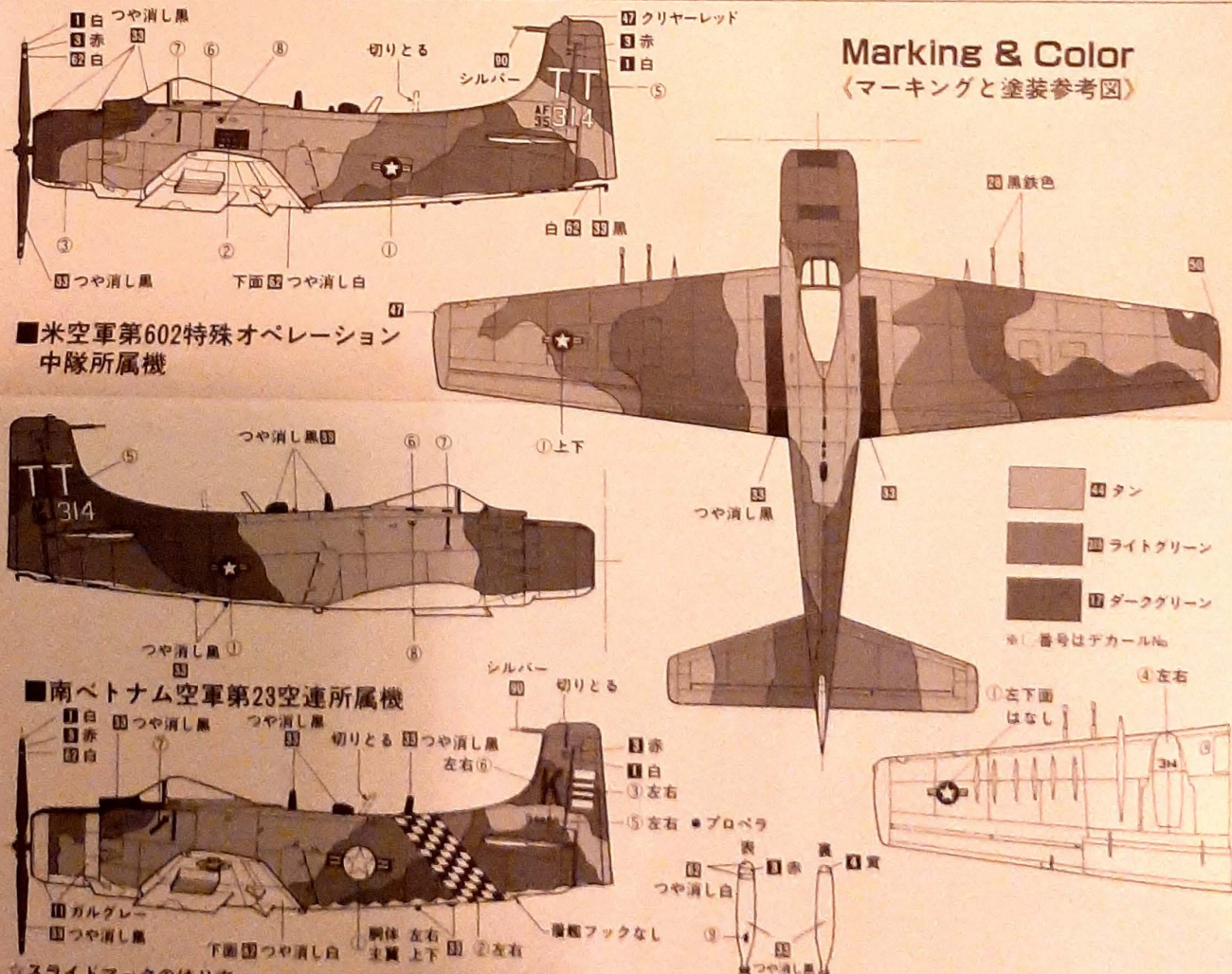
しかしながら1960年代の中ばに入ると、本機の地位は、A-4、A-6、A-7などの新鋭機によって奪いさられ、1968年2月20日、最後の任務を終えたスカイレーダーが、CVA43コーラルシーに着艦し、このときをもってAD/A-1スカイレーダーはその長い生涯に幕を閉じることとなったのである。しかし、実戦でその性能を十分に生かして戦いぬいた最後のレップロ艦攻撃機として、航空史に長く残る機体であることにちがいはなからう。

〈AD-6 スカイレーダー主要諸元表〉

用途	艦上攻撃機
乗員	1名
発動機	R-3350-26WA
出力	2800HP
主要寸法	全幅 50ft
	全長 39.2ft
	全高 12ft
重量	自重 11302lb
	過荷重量 25000lb
最大速度	285mph
上昇限度	28500ft
戦闘航続距離	1143nm

AD-6/A-1Hは、核爆弾運用機であったAD-4Bの改良型で、シリーズ中一番生産機数が多く、713機が生産されその多くがベトナム戦に投入された。

Marking & Color  
 〈マーキングと塗装参考図〉



- ★スライドマークのはり方
- 必要な部分シートから切り抜いて下さい。
  - 切り取ったマークを水に20-30秒位浮かべておいて下さい。
  - マークシートからずらして、指定の位置に張り付けて下さい。
  - マークの上からやわらかい布等でおさえ、余分な水分を吸い取って下さい。

カラー番号は、グンゼカラー及びモデルカラーの番号です。火気等に十分気をつけて塗装して下さい。

